

別紙－10

歴史調査

古文書の解読等の概要について

1. 古文書の解読

第十堰周辺地域等の旧家等（旧家7、神社1）にある古文書を収集（102点/580ページ）し、読み下し文*₁の作成、その現代語訳*₂を行いました。

収集した古文書のうち、第十堰に関係するものは76点でした。

その概要は、下記のとおりです。

① 76点の出典

67点	笹木野春日神社文書（松茂町歴史民俗資料館所蔵）
7点	三木家（三木産業株式会社 三木文庫所蔵）
2点	中財家（文書館所蔵）

② 年代

76点の古文書が書かれた年代は、明治時代のものが約7割、江戸時代のものが約3割と推定されます。

③ 現代語訳の概要

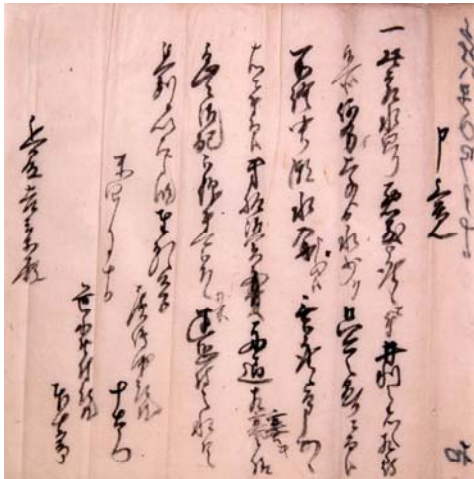
第十堰に関する古文書の主な内容は、当時の水利組合にあたる井組による陳情等が多く、改築・修繕に関するものや舟通しに関するもの等も見られました。

6点	江戸時代の第十堰の改築・修繕関係
4点	明治時代の第十堰の改築・修繕関係
8点	江戸時代の舟通し関係
11点	江戸時代の土地・費用負担関係
23点	明治時代の土地・費用負担関係
1点	作成年代不明の土地・費用負担関係
23点	明治時代の井組分離関係

※ 1) 読み下し文とは、江戸時代、明治時代に書かれた草書体の文書を、楷書体の文書に書き下したものです。

※ 2) 現代語訳とは、読み下した文書を、全体の意味に重点をおいて現代の文書に訳したものです。

< 図 - 1 原文→読み下し文→現代語訳 解説例 >



近藤吉兵衛殿

笹木野村庄屋本十郎

未四月十日

広嶋浦庄屋 十右衛門

近藤吉兵衛殿

笹木野村庄屋 本十郎

未 4月10日

広嶋浦庄屋 十右衛門

申し上げる覚

このごろ用水の水回りが大変悪いので、用水管理者(井利の者)に聞いたところ、上流の水が少なく現状ではとても中ノ瀬へ水が増えることはないだろうと聞いております。このことについては、第十堰の船通しをふさいでいただくことを、急いでご許可・ご手配いただけますようよろしくお願いいたします。用水下流で迷惑している村の私ども連判により右の件をお願いします。

< 表 - 1 現代語訳 概要表 >

表-1 現代語訳 概要表

江戸時代の第十堰の改築・修繕関係			
1	乍恐奉願上覚 (第十村勿関破損用水不足に付、普請の願)	度重なる出水にて破損した第十堰の修繕の願い	笹木野 春日神社
2	乍恐申上ル覚 (北川流水不足に付、第拾関改築の発議)	吉野川水不足により、第十堰の改築の願い上げ	
3	乍恐奉願上覚 (第十井料式升懸有町数之内御校量引奉願上候願書之控)	第十堰負担金の件	
4	申上覚 (第十関普請に際し、与内銀不足の協議)	第十堰修繕費不足による井組内の協議内容	
5	第十水利御関御普請与内間割当の事	第十堰修繕、復旧に対する費用負担の割当	三木家
6	第拾村御普請 (第拾村普請につき定書写)	来春の第十堰普請計画書	中財家

明治時代の第十堰の改築・修繕関係			
1	左之通御達申候間御承知ニ相成度候也 (地租金収納の義について・第十堰修繕の願について)	地租金収納の義について・第十堰修繕の願について	笹木野 春日神社
2	専給水勿関御繕 (関修繕に付呼出状)	第十堰修繕の要望書	中財家

江戸時代の舟通し関係			
1	御手紙致拝見 (第拾関仮舟通について)	第十堰舟通しの位置や修繕計画について	笹木野 春日神社
2	以手紙 (第拾関船通付替に際し、郷銀請負の廻状)	第十堰舟通し付け替えの負担金の件	
3	申上覚 (第拾舟通之義、広島・笹木野連判にて大松へ申出候)	広島、笹木野村水不足による第十堰舟通し塞ぎ止めの要望	
4	第拾関舟通し石銭取五人入札ヲ以相極候様大松より触	第十堰舟通し石銭取立人の入札による希望者の案内	
5	第拾御関井組請ニ被仰付候ニ付石銭取立 (石銭取立旅宿建築の件)	石銭取立旅宿建築の件	
6	乍恐奉願覚 (第拾関船通により塩害の訴訟)	第十堰舟通しによる塩害の訴訟	
7	御札ニ付仕上ル御答書之覚 (第拾関船通により塩害の訴訟)	第十堰舟通しによる塩害の訴訟	
8	御札ニ付仕上ル御答書之覚 (第拾関船通により塩害の訴訟)	第十堰舟通しによる塩害の訴訟	
9	未四月九日船通御塞キ (第拾関船通塞キについて)	広島、笹木野村水不足による第十堰舟通し塞ぎ止めの要望	

江戸時代の土地・費用負担関係			
1	宝暦三酉年正月 第拾御割符指出 板野郡笹木野村用水懸田作仕分反高指出帳 外ニ巻冊 笹木野村用水懸田作仕分地引帳共 二冊仕上ル 御目路見所へ指出ル上之控	第十堰用水に納める笹木野村内の個人負担高	笹木野 春日神社
2	寛政三亥年六月三日 名西郡第拾村水勿関大幸組村々御蔵御給地反畝相改指出帳控	大幸村における第十堰用水受益地面積及び収穫高の年貢等配分の修正	
3	書付覚 (第拾関井組村々自力銀負担について)	第十堰の維持管理費用の井組内負担金について	
4	申上ル覚 (第十水懸反数中引方調申上ル)	第十堰用水受益地面積及び収穫高の調べ直し	
5	仕上ル覚 (第拾堰井懸り反高より、畠地仕分け指出)	畑作変更につき、負担分変更の願い	
6	仕上ル覚 (第拾積井懸り反高より、瀬入田仕分け難し)	収穫不振につき、負担分変更の願い	
7	申上ル覚 (中引之分相仕出候様御案文)	前年減米分の返納の案文	
8	井懸り第十へ仕出有之候分写し取	中喜来浦村における第十堰用水受益地面積及び収穫高による負担配分	三木-01
9	第十御関懸り反高並びニ御蔵給知先年相仕有之候控	中喜来浦村における第十堰用水受益地面積及び収穫高による負担配分	
10	第十関井組村々反高物成取調指出帳	第十堰井組各村における作付面積及び収穫高による負担配分	
11	第十水利御関御普請与内間割当の事	第十堰修繕、復旧に対する費用負担の割当	

明治期の土地・費用負担関係			
1	高知縣仮出張所 明治九子年九月廿八日出 御布告式通入 但し第十堰一条 地租収納之事 野村 (封筒のみ)	第十堰、地租収納の件 封筒のみ	笹木野 春日神社
2	左之通御達申候間御承知ニ相成度候也 (地租金収納の義について・第十堰修繕の願について)	地租金収納の義について・第十堰修繕の願について	
3	上申 (第十工事賦課金御受)	第十堰工事負担金の件	
4	御受書之事 (第十工事賦課金)	第十堰工事負担金の件	
5	寛政三亥年六月三日 名西郡第拾村水勿関大幸組村々御蔵御給知反畝相改指上帳	大幸村における第十堰用水受益地面積の修正	
6	第十堰修繕之義ニ付上願 (破堰修理費拝借)	第十堰修繕費金千円拝借の願い	
7	第十工事費金上納之義ニ付歎願	第十工事費負担に関する要望書	
8	明治十年 第拾掛割符目安帳 十二月	第十堰の維持管理の費用負担額	
9	笹木野村会決議 (予算案)	笹木野村会の予算案 第十用水浚え費用あり	
10	第十工事費金不納者財産	第十堰工事負担金遅延者の財産取り調べについて	
11	第十工事協議費上納ノ義ニ付上申書副書	第十工事費の苦情及び支払い遅れの件	
12	第十工事協議費金上納義ニ付上申	本年度の第十工事費の用途に申上げ	
13	臨時会議案 (洪水にて第十修繕工事予算案)	第十堰破損により工事負担金徴収の臨時会の議案	
14	御請書 (第十組合費五歩通請合い) 下書	井組分離願い中に付き、組合費半分負担の請合いの下書き	
15	第十工事協議会上納之義ニ付上申	第十工事費の用途に申上げ	
16	第十費金上納之義ニ付再願 (再審請求に付関係書類綴り)	第十工事費の用途に申上げ	
17	第十工事協議費金上納義ニ付上申	第十工事費の用途に申上げ	
18	第十工事之義ニ付上申 (工事見直しについて)	第十工事費の用途に申上げ	
19	金子借用証文之事 (第十工事費金繰出に付)	第十工事費のための借用書	
20	金子借用証文之事 (第十工事費金繰出に付)	第十工事費のための借用書	
21	証 (第十課金領収書)	第十工事費支払いの領収書	
22	明治廿三年第十工事費 (申告書)	明治23年度の第十工事費	
23	第十井組五十八ヶ村田新反別帳	井組58ヶ村における旧新第十堰用水受益地面積比	

作成年代不明の土地・費用負担関係			
1	第十普請割符掛	第十堰修繕における三木與吉郎の費用負担分	三木家

明治期の井組分離関係			
1	第十井組分離之義御願	第十堰井組分離の願い出	笹木野 春日神社
2	第十井組分離之儀ニ付願	第十堰井組分離の願い出	
3	第十井組分離之願	第十堰井組分離の願い出	
4	兼テ昨日御約諾之通 (第十堰組合解散之議案)	第十堰組合解散の議案	
5	第十工事協議費金上納義ニ付上申	第十工事費の使用により村民の苦情や井組脱退の	
6	委任状 (笹木野豊中新田両村第十水利井組より分離交渉に関する権限を橋岡重郎 外3名に)	第十工事費及び井組脱退の案件について代理人に委任	
7	委任状之事 (豊中新田村との第十工事費分担問題及び組合分離に関する交渉権限を橋岡重郎 外3名に対して) 写	第十工事費及び井組脱退の案件について代理人に委任	
8	名西郡第十井組分離書類 (書類袋)	井組脱退の書類の封筒のみ	
9	第十工事費金上納ニ付歎願 (六ヶ村組合分離問題)	第十堰井組分離の願い出	
10	郡役所ニ於テ (第十井利組合からの分離請願書下書)	第十堰井組分離の願い出	
11	第十井組分離之義ニ付上申	第十堰井組分離の願い出	
12	第十井組分離之義ニ付願	第十堰井組分離の願い出	
13	第十工事費金上納之義ニ付歎願 (六ヶ村組合分離問題)	第十堰井組分離の願い出	
14	御請書 (第十組会水利土功会開設につき組合分離の上願について)	第十堰井組分離の願い出	
15	第十工事費金上納之義ニ付歎願	第十堰井組分離の願い出	
16	第十井組分離之義ニ付願 (下書)	第十堰井組分離の願い出	
17	第十井組分離之義ニ付願 (下書)	第十堰井組分離の願い出	
18	委任状 (第十水利井利組合に付)	第十堰井組分離及び病人の代理委任	
19	第十井組分離之義ニ付願 (控)	第十堰井組分離の願い出	
20	第十事件御議論ニ付村中衆議上申書	第十堰修繕を行っても用水取れず	
21	第十工事費金上納遅延之義ニ付猶予願	第十堰修繕を行っても用水取れず	
22	陳述書 (第十工事に関する意見書)	塩水遡上により広戸今切両川口の調査の願い	
23	第十工事之義ニ付上申	第十堰井組分離の願い出	

2. 石碑・歌碑等の現地調査

① 概略調査

現地調査範囲については、第十堰周辺地域、井組に加入していた地域に設定しました。(2市6町)

現地調査の結果、調査箇所数は「635箇所」でした。

<表-2 概略調査箇所数一覧表>

	既知の史跡	名西郡石井町	徳島市国府町	徳島市応神町	徳島市川内町	板野郡上板町	板野郡板野町	板野郡藍住町	板野郡北島町	板野郡松茂町	鳴門市	合計
神社		28	23	12	30	16	21	34	14	17	66	261
神社以外	36	78	36	8	32	24	29	27	19	16	69	374
小計	36	106	59	20	62	40	50	61	33	33	135	635

② 詳細調査

概略調査の635箇所のうち、第十堰、第十樋門に関係する可能性がある石碑・歌碑等、48箇所を詳細調査の対象としました。

<図-2 石碑・歌碑調査 詳細調査 調査箇所位置図>

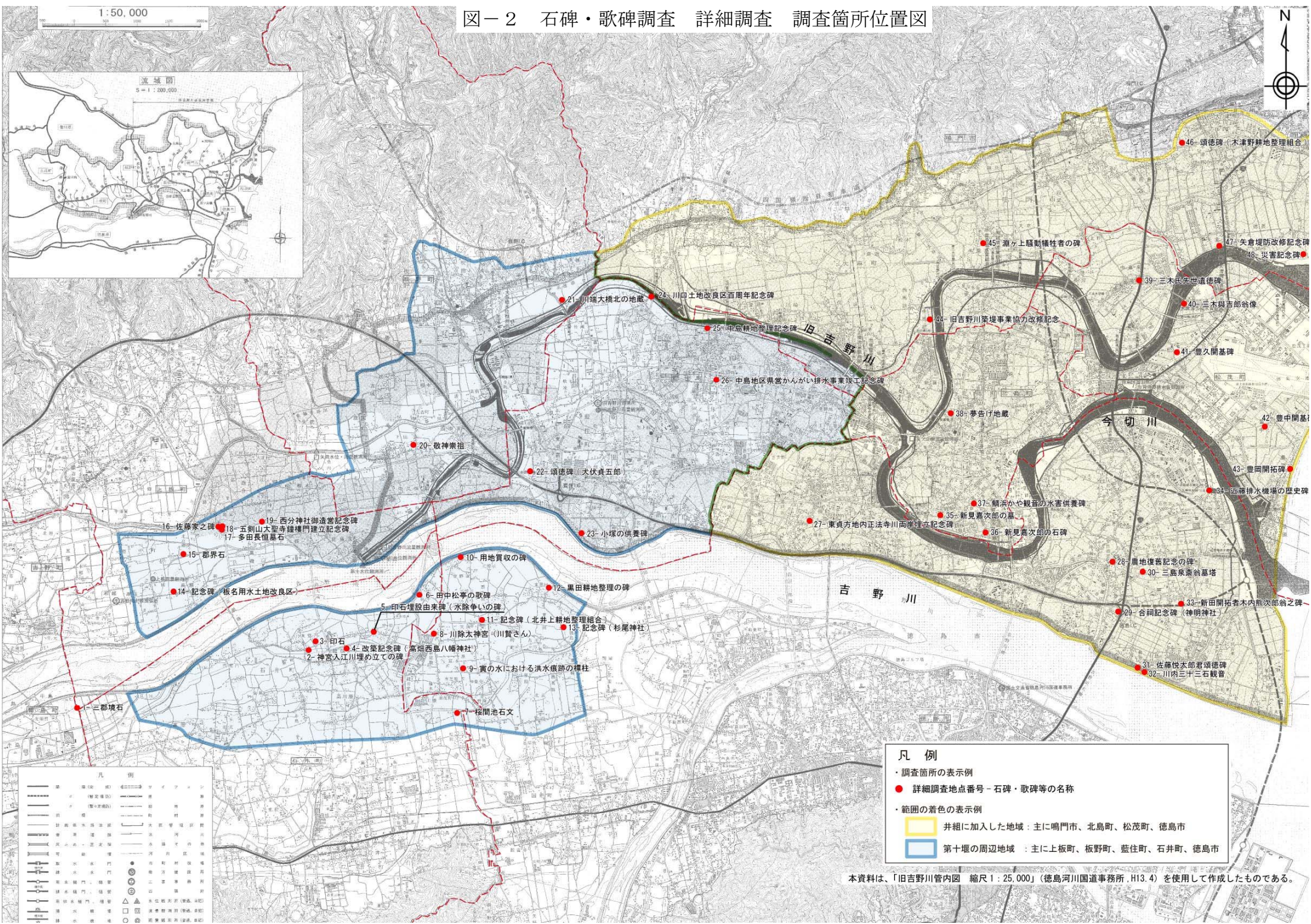
<写真-1 石碑・歌碑調査 詳細調査 写真集>

詳細調査48箇所のうち、碑文内容を判読の結果、第十堰に関連する石碑等を1箇所を見つけました。

■ 田中松亭*1)の歌碑(第十堰右岸 八幡神社内)

※1) 田中松亭(1915～1987年): 徳島市出身の書家

図-2 石碑・歌碑調査 詳細調査 調査箇所位置図



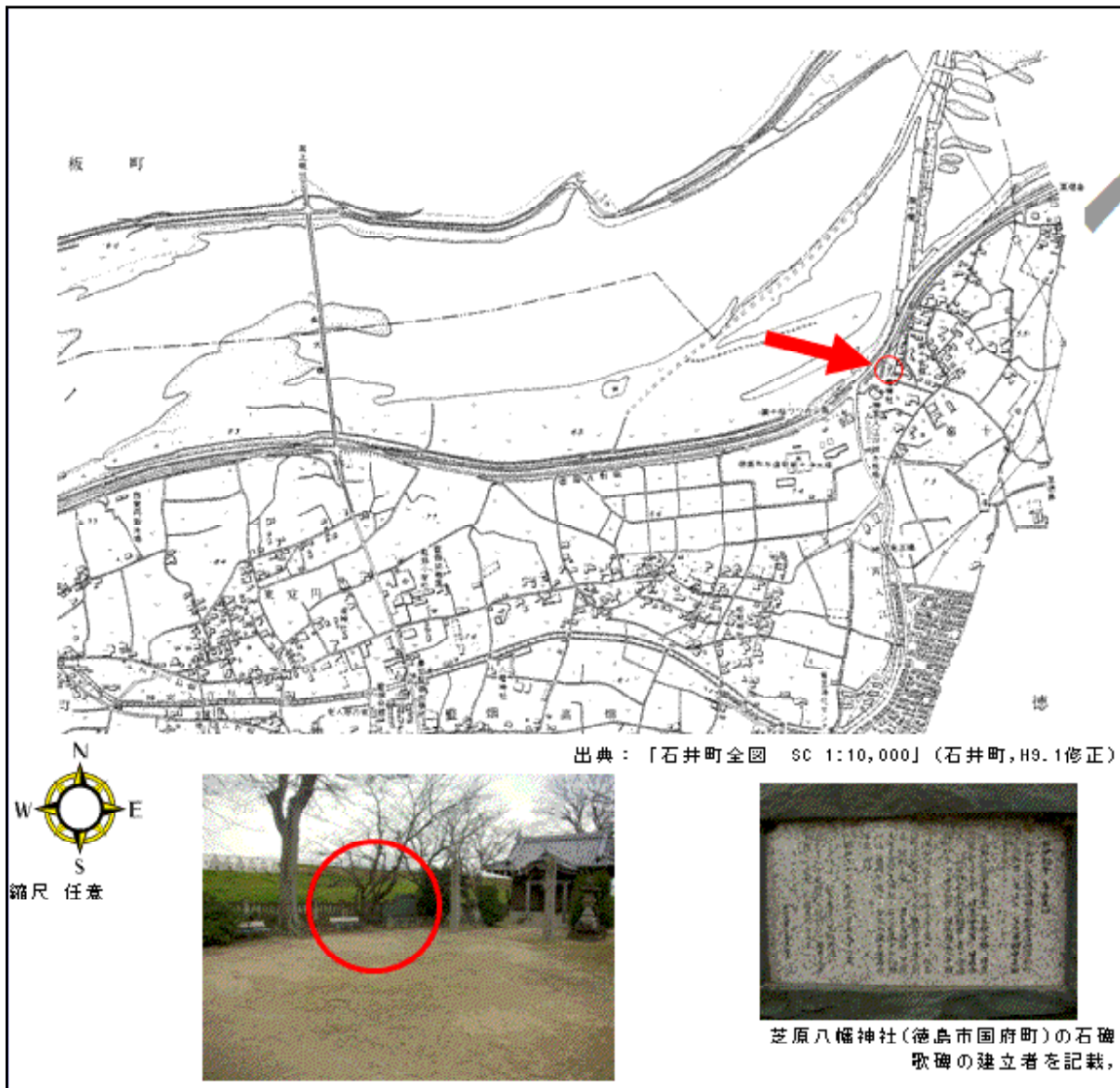
- 凡例**
- 調査箇所の表示例
 - 詳細調査地点番号 - 石碑・歌碑等の名称
 - 調査箇所の表示例
 - 井組に加入した地域：主に鳴門市、北島町、松茂町、徳島市
 - 第十堰の周辺地域：主に上板町、板野町、藍住町、石井町、徳島市

本資料は、「旧吉野川管内図 縮尺1:25,000」(徳島河川国道事務所, H13.4) を使用して作成したものである。

石碑・歌碑調査 詳細調査 写真表

詳細調査 地点No.	石碑・歌碑名称	写真	詳細調査 地点No.	石碑・歌碑名称	写真	詳細調査 地点No.	石碑・歌碑名称	写真	詳細調査 地点No.	石碑・歌碑名称	写真
1	三郡境石		11	記念碑（北井上耕地整理組合）		21	川端大橋北の地蔵		31	佐藤悦太郎君頌徳碑	
2	神宮入江川埋め立ての碑		12	黒田耕地整理の碑		22	頌徳碑（犬伏貞五郎）		32	川内三十三石観音	
3	印石		13	記念碑（杉尾神社）		23	小塚の供養碑		33	新田開拓者木内熊次郎翁之碑	
4	改築記念碑（高畑西島八幡神社）		14	記念碑（板名用土水地改良区）		24	川口土地改良区百周年記念碑		34	近藤排水機場の歴史碑	
5	印石埋設由来碑（水除争いの碑）		15	郡界石		25	中島耕地整理記念碑		35	新見嘉次郎の墓	
6	田中松亭の歌碑		16	佐藤家之碑		26	中島地区県営かんがい排水事業竣工記念碑		36	新見嘉次郎の石碑	
7	椋間池石文		17	多田長恒墓石		27	東貞方地内正法寺川両岸埋立記念碑		37	鯛浜かや観音の水害供養碑	
8	川除太神宮（川賢さん）		18	五剣山大聖寺鐘樓門建立記念碑		28	農地復舊記念の碑		38	夢告げ地蔵	
9	寅の水における洪水痕跡の標柱		19	西分神社御造営記念碑		29	合祠記念碑（神明神社）		39	三木氏先世遺徳碑	
10	用地買収の碑		20	敬神崇祖		30	三島泉斎翁墓塔		40	三木與吉郎翁像	
									41	豊久開基碑	
									42	豊中開基碑	
									43	豊岡開拓碑	
									44	旧吉野川築堤事業協力改修記念	
									45	淵ヶ上騒動犠牲者の碑	
									46	頌徳碑（木津野耕地整理組合）	
									47	矢倉堤防改修記念碑	
									48	災害記念碑	

< 図-3 位置図・設置箇所の状況写真 >



<写真-2 歌碑の全景写真>



<図-4 右側・左側の写真、歌の内容>



思出は
遠く幼き
ふるさとの
吉野の
川の堰
の水音

□□□□

吉野川歌碑

思出は遠く幼きふるさとの

吉野の川の堰の水音

松亭詠書

田中松亭 本名正四

大正四年徳島市国府町

芝原に生まれる 昭和

二十四年春上京 日展

特選 審査員 漢字仮

名混然一体 清新雅潤

な書風を創る 叙情的

短歌も親しみ易い

昭和六十一年一月 杉野青村撰書